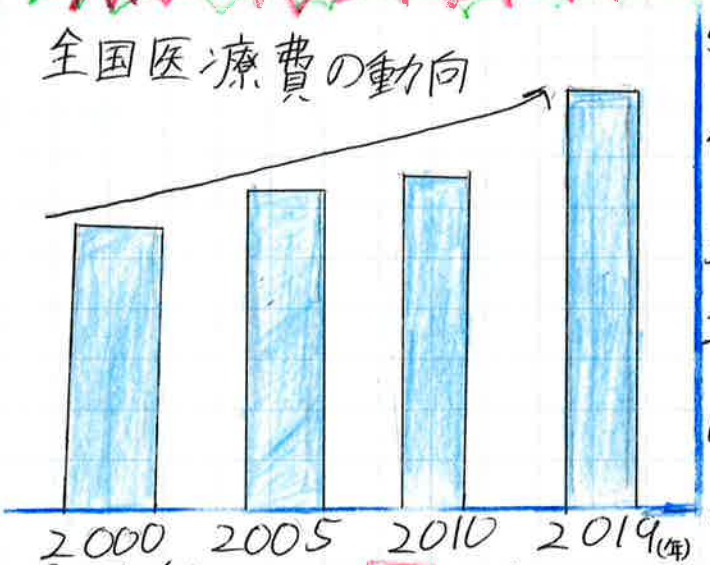
日本の医療との関わり方新聞

発行者
桂川中学校
2年4組
内藤 侑心

関わり方を見直さないと!!

コンビニに出かけるような軽い気持ちで、夜間や休日の時間外に病院を受診していませんか。そのような医療機関のかかり方をすると、待ち時間が長くなったり、医療費が高くなったりするなど多くのデメリットがあります。



そのためにはどうするとよいか

①日常的な病気は身近な診療所を受診する。

②時間外受診は控えて診療時間内に受診する。

③かかりつけ医をもつ。

このような医療費の増加のためにも医療機関によって大病院と身近な診療所の受診時のメリットなどを考える必要があります。

医療費の節約もできることから身近な診療所にかかることが医療費の節約にとってとても大事なことだと分かりました。

僕も安易に大病院に行くのではなく身近な診療所に行くように集約したいと思います。次に、休日や夜間に受診すると追加の費用がかかり、また、日本では、診療体制も異なり、検査なども十分にできないことがあるので診療時間内に受診するのは、診療の正確性も考えると大事だと思いました。僕もなるべく診療時間内には受診しないようにします。そしてかかりつけ医の紹介状をもっていけば定額金なしで受診できるので医療費の節約にはかかせない事だと思った。

今の医療についてどう思っているか。

インタビュー

母
私は今、看護師として働いています。今の医療の現状をふまえて、やはり医療のかかり方は少し工夫してもらいたいです。軽い気持ちで夜間の時間外にくるのはひかえていただきたいです。

父
今の医療はとても医療費が上がり続けているので私も健康など医療のかかり方を改善して、できるだけ医療費がかからないようにしたいと思っています。

しっかりとしたかかり方を
年々増え続けている医療費を節約するために今の日本人は医療機関との関わり方を見直していかないといけないと思った。